平成21年度 受賞作品紹介 建築作品賞

建築作品選考委員会
委員長 柳澤孝彦
委員 土本俊和
委員 岡 正子

総評

今年の応募作品は10点におよぶ多様な作品群でした。いずれもある種の地域性を土台にしながらも多様な設計意図を発展させた完成度の高い建築を立ち上げていて、当協会会員の実力の高さを実感するものでした。そして忘れてはならないことは建築主の熱い想いこそが設計者を勇気づけて建築を完成に導いていることです。

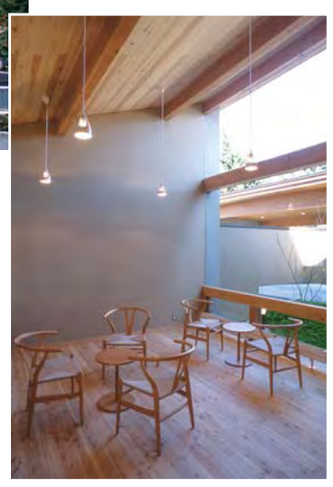
作品選考委員会は、応募作品全てにあらゆる観点からの議論を加え、検討を深めて豊かで明快な設計理念が際立つ完成度の高い作品に注目して、優秀賞に該当する作品２点と佳作３点を選出することとしました。

入選作品以外でも、環境テーマ、地域性、都市性、伝統性などを現代の建築環境に組み込んだ魅力ある作品が多く提出されていたことも付け加えたいと思います。

当協会会員の一層のご活躍を期待します。

優秀賞　小澤メンタルクリニック

建設地：松本市浅間温泉1-16-23
構造・規模：木造平屋建て、延べ床面積160.29㎡
設計期間：基本設計　平成18年６月～９月
実施設計　平成18年９月～平成19年１月
工事期間：平成19年３月～11月



敷地は松本浅間温泉入り口の幹線道路沿いにあります。車からの視線と騒音から室内環境を守るため質量のあるコンクリート塀を造りました。塀の内側に中庭を外側に緑地を作るプランです。幹線道路沿いのこの地域は無秩序に建物が建ち並び、浅間温泉そして美ヶ原への入り口にふさわしい景観とは言えません。本物件では土壁風外壁と杉板を軒裏に張った素朴な質感に、塀の水平線と軒先の水平線を重ねたシャープな造形を調和させ、新たな地域性を提案しました。内部床は唐松無垢板、天井は杉無垢板、壁は地元の砂を混ぜた珪藻土の塗り壁です。自然素材に囲まれた空間は病院特有の匂いが無く、無垢の床板が素足に心地よく患者さんは大変リラックスできます。診察室前の塀は向かいの建物を隠し中庭という閉じた空間を作り上げています。閉じることによる安心感のほか、塀内外の木と山の緑が重なり合ってつくる、空間の広がりと連続感は狭いが故に広がるという不思議な感覚です。また中庭や天窓から間接的に入る光はとても柔らかく医院全体を包み込むように優しく広がります。

■設計
HAL設計室
代表　荒井　洋
〒390-0876　松本市開智1-5-13
TEL・FAX(0263)33-6186　http://www.hal-net.jp/

■施工
株式会社 小林創建
代表取締役　小林稔政
〒390-0836　松本市高宮北5-8
TEL(0263)26-6260　FAX(0263)26-6682
http://www.ksoken.com

優秀賞　介護付き有料老人ホーム『わくわくホーム』

建設地：飯田市松尾寺所7043
構造・規模：木造平屋建て、延べ368.98㎡
工事期間：平成18年11月～平成19年４月

地域材とＯＭソーラーの〝脱施設〟の第二の家づくり

下伊那の地域材『根羽杉・新野杉』を産地直送の流通方式で使用。特に建物全体を貫く根羽杉の太鼓梁の架構は、伊那谷の本棟民家の力強い空間づくりをイメージし、高齢な入所者でも子供の頃に慣れ親しんだ生家の様な雰囲気を思い出すことを願った。

晴天率の高い伊那谷の気候を利用し、太陽熱を集熱・蓄熱するＯＭソーラーを全面採用。冬の床暖房・中間期から夏場のお湯採り・夏場の夜間蓄冷と低コストで快適な室内環境維持に１年間大活躍する。入り口スロープは基準の二倍の緩勾配。裏口の階段は一段一段が１ｍ以上あり、介護者と共に乗降しやすい車椅子階段とした。各所の手摺等に加え、最大の特徴は床が県産材唐松フローリング自然樹脂塗装である事。また、入り口から奥に向かう便器の向きや入所者もお手伝い出来るオープンキッチンなど、随所に施主の介護経験での実体験を取り入れている。

片流れのＯＭソーラーの集熱屋根と寄せ棟が組み合わされた軒先の水平ラインが特徴的な平屋の木造らしい外観。日照・通風を考慮したデザインをそのまま形にした。目立つ事より馴染む事を大切に優しいデザインを心掛けた。「自分たちが入りたいと思う家をつくりたい」という施主自らの想いを実現。「地域材とＯＭソーラーの『脱施設』の第二の家づくり」は、多様な一生を送る一つの選択肢となろう。

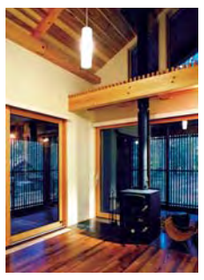
■設計
NeXT 新井建築＋設計室
一級建築士　新井　優
ＪＩＡ日本建築家協会会員
伊那谷の森で家をつくる会会員
事務所／飯田市松尾代田1324－2
TEL(0265)24-2131
http://www3.ocn.ne.jp/~arainext/

■施工
大蔵建設株式会社
代表取締役　大蔵　実
本社／飯田市丸山町２－6732－13
TEL(0265)24－6464
http://www.avis.ne.jp/~om-okura/

■木材納入
根羽村森林組合
信州木材製品認証工場
組合事務所／下伊那郡根羽村2173
TEL(0265)49－2120
木工加工工場／下伊那郡根羽村398－2
TEL(0265)49－2848

佳作　F－VILLA格子デッキのある家

建設地：安曇野市穂高有明
構造・規模：木造２階建て、延べ176.60㎡
竣工日：平成19年８月１日



敷地は穂高温泉郷別荘地内、高低差６ｍの傾斜地、赤松林の中。北アルプスからの湧き水が爽やかな音をたてて流れる場所にある。既存建物解体時に伐採される赤松再利用の強い要望から樹径50cmの赤松８本が乾燥工程を経て、構造梁部に４本、小梁部に15本みがき表し部にそれぞれ使用された。先代から受け継いだ土地・樹木の記憶を建築に携えることが建主の願いであった。格子デッキは防犯・維持管理上、有効な手段として機能しデッキ下屋部分での外でもなく内でもない空間は、曖昧な中間領域として安曇野の森林に身をゆだね、風景に潜む場となっている。４つの片流れ屋根の形態は、玄関・居間・浴室・個室の位置に合致して設けられ登り梁により屋根構造形状を天面にかたどっている。傾斜天井から外部へ閉じる室内空間は、格子デッキ越しに映える木々への視線の抜け方を意識して決められた。安曇野市穂高の赤松林に溶け込む外観と内部吹き抜け空間の温熱環境に対しガスコージェネレーションの床暖房と薪ストーブによる全館暖房を高気密断熱次世代Ⅱ地域省エネ仕様の性能により実現している。

■設計
OGAWARA SEKKEI
ARCHITECTS & ENGINEERS
〒399-8205　安曇野市豊科4235－8
TEL(0263)72-4683　FAX(0263)72-7280
http://www.ogarchi.net/

■施工代表
株式会社 シブカワ
代表取締役　渋川定行
〒381-0022　長野市大字大豆島6018
TEL(026)222-2737　FAX(026)222-5247
E-mail:shibukawa@shibukawa.e-arc.jp

佳作　中軽井沢の家

建設地：北佐久郡軽井沢町長倉1009-5
構造・規模：木造２階建て、延べ床面積144.92㎡
工事期間：平成18年12月～平成19年７月

東京在住の建築主は、ご家族（愛犬含む）での２地域居住を考え、松本か軽井沢をその候補に考えていました。結果、軽井沢を選択され土地を購入。東京での暮らしでは適えられない１）大型犬との生活を楽しむ２）自然環境を楽しむ３）趣味の生活を楽しむことを望んでおりました。ご夫婦とも、大学で美術史を専攻されたことから建築の意匠や歴史にも造詣が深く、好みも明確でした。そこで、コンセプトとして『軽井沢らしい旧い趣のある建物』が示され、具体的な好みとしてヴォーリズや大正時代の別荘、F.L.ライトを挙げられました。そこで、建物内外に渡り擬洋風な味わいや手工芸的な要素を取り込み計画に反映することにしました。また、２地域居住ではSOHOの要素も必要になり、趣味用書斎を夫婦別々にとることで可能にしました。自然環境を楽しむことを念頭に敷地内の樹木は極力残しました。また、愛犬との生活を楽しむための装備を建物内外に設けました。

■設計
有限会社 住まい考房
代表取締役　清水　宏
〒399-0738　塩尻市大門七番町14－18
TEL(0263)53-8388　FAX(0263)54-3810
http://www.sumai-k.com

■施工
有限会社 陸大
代表取締役社長　黒澤　弘
〒384-1103　南佐久郡小海町豊里2211
TEL(0267)92-2983　FAX(0267)92-3582
http://www.rikudai.co.jp/

佳作　やまよつ庵

建設地：大町市
構造・規模：木造２階建て、延べ172.47㎡
竣工日：平成19年12月８日

施主の傘木さんの民家は、柱や梁の形状と桁行方向のスパンがまばらなことや、解体時に出て来た位牌から江戸中期の民家と推定されます。構造材はしっかりとしたもので、次の世代に繋ぐ古民家の再生として考えていくことにしました。

この敷地の中には立派な土蔵が残っています。いったん解体して向きを90度回転させながら道路から直接見えるようにしました。地球環境も考え、使える材は全て活用するよう心がけ、茅の処理は堆肥として利用しました。古材以外は近くの施主の山から切り出し、愛着のある信州ふるさとの住まい県産材活用住宅ともなっています。

この建物は、玄関から囲炉裏の間をかえして各部屋へと繋がっていくことから、この場所を天井は吹き抜けとし、力強い骨組みを見せながら囲炉裏を持つ古民家独特の重厚感ある空間となっています。２階は洋室にしていますが、古材の梁を表し屋根勾配天井としたロフト付の古民家の雰囲気を持つ空間となっています。

近年、古民家も含め伝統的な建築物が急速に姿を消していく中で、屋号の「やまよつ庵」として名付けられ、計画から３年の歳月をかけてこのような形で見事によみがえりました。

■設計
小林建築設計事務所
Kobayashi Architect Design Office
所長　小林正芳
〒399-8602　北安曇郡池田町大字会染4831－１
TEL(0261)62-9392　FAX(0261)62-9034
http://kobaado.com

■施工
有限会社 中山工務店
代表取締役社長　中山武俊
〒399-8601　北安曇郡池田町大字池田714－１
TEL(0261)62-3234　FAX(0261)62-7999
http://www.k2-homes.com/hp/nakayama-k